



トロント新移住者協会

www.torontonjca.com

torontonjca@yahoo.co.jp

NEW JAPANESE CANADIAN ASSOCIATION c/o JCCC, 6 GARAMOND COURT, TORONTO, ONTARIO, CANADA M3C 1Z5

巻頭言

会長 長石芳尚



皆さんこんにちは。久しぶりの巻頭言ですが、うれしいお知らせが2つあります。一つ目は、長らく JCCC の中に NJCA の活動拠点を確保する為の話し合いを続けてきましたが、ようやく決着を見て契約に到ったことです。一時は1200 SQF 程の部屋を借りて現在、未来の活動拠点を確保しようと考え、賃貸料、保険料、改造費等の見積もりを取りました。その結果、銀行預金、イベントや募金活動からの収入等の予測から大雑把に計算すると必ずしも不可能な支出ではないものの相当な覚悟が必要で軽々に決断できないことが判ってきました。

そこで、より広くの方から寄付をお願いできる体制作りを目指し、以前、1度挑戦して実現しなかったチャリタブル・オーガナイゼーション資格に再び挑戦する準備と上記の部屋を賃貸契約した場合の総経費、関係諸団体から期待できる経費負担等の詳細検討も開始しました。ところが突然、JCCC から「NJCA の年間基幹活動に必要なかつ十分な空間を5年契約で賃貸するのはどうか」という提案が出てきたのです。この提案は NJCA が当初考えていた案の一つに極めて近く、現在の NJCA の活動状況から見て部屋一つを年間契約で賃貸した場合には利用しない時間にも賃貸料を払うことになるのですから財源を無駄にすることになると共に必要となる財源確保の為の募金活動に活動の主力を向けたり、会員や日系社会の皆さんに更なる負担を呼びかける等の NJCA 本来の活動から外れた活動も必要になる可能性が高くなることも予測できます。更に今後益々貴重になってくる JCCC の空間を例え使用料を払うにしても NJCA 自体の活用頻度は低いので無駄にする事になります。以上を考え合わせると、この新しい JCCC からの提案、即ち、NJCA の活動に必要なかつ十分な空間に限る賃貸契約は貴重な空間を効率的に使う事になり JCCC の活動、収入増加をもたらすでしょうし、NJCA にとっても限られた財源と活動時間を無駄にしなくて済むだ

ろうとの判断の下に6月の定例理事会で全会一致の承認を得て正式に5年契約の調印を致しました。

どうか皆様のご理解と変わらぬご支援を今後ともよろしくお願い致します。

二つ目ともてうれしいお知らせです。去る8月6日、在トロント総領事公邸でトロント新移住者協会が長年に亘りカナダと日本との相互理解に貢献する活動を続けて来たとして日本国外務大臣表彰の伝達式が挙行されました。この式典は山下哲夫総領事、昌子夫人主催で執り行われ、総領事館の皆様、日系社会各団体、メディア代表者の方々、そしてトロント新移住者協会の現執行部、歴代会長、傘下校の校長及び校長代理の皆さん、総勢40数名が参列されました。写真は山下総領事からお祝いのお言葉と共に戴いた表彰状と伝達式での記念写真です。

以上、創立33年目を迎えたトロント新移住者協会が今年、これから皆さんと更なる躍進を共に遂げる大きな節目を迎えたことを強く感じさせてくれるトロント新移住者協会始まって以来の大きなイベントを経験した事をご報告し、これからも継続から力が生み出せるよう皆様からの益々のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。



ボランティアは楽しいね

森貞一弘



数年前の夏、帰国した時、丁度、町内の盆踊り大会で汗まみれのステテコ姿で、一生懸命にトウモロコシを焼いている父親を見ました。「お父ちゃん、せっかく帰国してんのに家を留守にして、こんなところで、何やってるん?」「見ての通り…ボランティアやがな…一弘もひとつ、買ってや〜」と普段、無口な父

親が、割とそれらしい口調でサマになっていたのを思い出す。

「あの時の父親は確かに輝いて見えた」という印象が今でも僕のどこに残っている。う〜ん、「あやしい」けれど、カッコいいね。

というわけで、あれ以来、心のどこかで「夜店などで、子供だましのゲームをする大人」の役をやってみたかった。いや、実際、日本(少なくとも僕の育った街ではそうだった記憶が…)のお祭り風景には、本当に超怪しい人が多い。

ということで今回は長年の夢だった「ヨーヨー釣り」のあやしいオジサン役に「夏祭り・盆踊り大会」で挑戦しました。

これが、結構、大変なんですよ…あの風船に水を入れる量とか仕上りの大きさの加減が、売り上げ(って言っても無料なんですけど、軽くしすぎるとヨーヨーにならないし、重くしすぎると、お子さん達の親から睨まれるしね)に響くしね。でも、あれほど楽しい商売はないね。

で…「この写真は一体、何だ?」って疑問が残るでしょうけど、これ…、実はね、JCCC が年一回、ボランティアの人達に感謝の気持ちを込めて招待してくれる「ありがとうデー」っていう日があるんですけど、その時、ビンゴで当たった熊ちゃんなんです。楽しいことをして、「ありがとう」って感謝されて、しかも、運がよければ、ビンゴで景品が当たると…これ、楽しすぎますよね。

今回は「お正月会」ですよ。皆さんも、何かやってみませんか?僕が今年の最初にした獅子舞(頭役)なんですけれど、日本国内だと、地元の文化保存会みたいなどころで、長年修行を積んで、地元で顔を利かして…と散々なんでしょうけれど、トロント新移住者協会は寛大ですから、「やりたい!」の一言で、話しは決まりますよ。「人を楽しませながら自分も楽しむ」、それも、きっと、ボランティアの精神だと思います。



かく云う私は長年東洋医学のうちの食養を勉強している者です。これは、「食べ物で病気を治す、あるいは予防する」という学問です。すなわち食を誤れば「やまい」を発生し食を正せば病気が治るとというのが食養の真髄です。

もうかれこれ20年も昔、長年にわたって何かと言うとビールをよく飲んでたということもあり、晩年になって胃が痛くなるようになり、(一度痛みが出ると1週間ぐらい続くのですが、それからしばらく治まって、やれやれと思っていると、ほどなくして又痛みが出るというようなことを何度も繰り返していました)このまま放置するとえらい事になるぞと思ひ、色々模索しているうちに東洋医学に入っていったのです。

東洋医学では痛みについて詳しく述べてあり、その細胞膜のしくみから治療法まで細かく教えています。私は、それらの理論を自分自身にあてはめて治療を試し、みごとに痛みを取り除くことができたのです。

それ以来、ますます深く広く勉強してきました。例えば胆石を患った場合、東洋医学では、症状の出ない内に診断し、石を溶かして流し出すように試みます。(大きくなれば病院で外科的に取り除いてもらうしか手はありません)

健康を保つために大事なことはいくつもあると思われませんが、中でも便秘にならないようにすることが特に肝心です。何故なら、便秘はあらゆる病気の素地を作るからです。普段から便秘にならないような健康的な食事をしましょう。

おばあちゃんの知恵?

秋 栄子



果物を台所やテーブルの果物籠の上に出しておく、いつのまにか集まってくるフルーツフライ。小さいのにけっこう気になりませんか。手でたたこうとしてもすばしっこくて、なかなかつかまりませんよね。

先日友人から簡単に捕まえる方法を教えてもらいました。

小さい小鉢にバナナを5ミリぐらいにスライスしたものを2~3枚いれます。小鉢にラップをかけて、輪ゴムをかけてとめます。そこに楊枝や竹串で沢山穴をあけて、他の果物の近くにおいておきます。中身は2日おきぐらいに替えてください。

半信半疑で仕掛けをしかけ、2時間ごとぐらいに小鉢をのぞいてみると、入っていました。小さな穴から小鉢に入れるのに、出口はわからないようです。そのおかげで果物籠の回りで飛んでいたフルーツフライはいなくなりました。1度ためしてみてください。



今回の天皇、皇后両陛下のカナダご訪問はカナダ日系社会には忘れ得ぬ思い出となるでしょう。

私は NJCA を代表してピアソン空港の CDF に

おけるお出迎えとお見送り、日系文化会館での御接見と3回間近にお目にかかることが出来ました。

しかし、直接的なご報告は何方がかなさると思いますのでここでは空港で耳にしたお話等をご披露したいと思います。



7月8日、午後2時半過ぎ、ほぼ予定通りピアソン空港の北部の一角にあるデアイシング施設の管理建屋の南につ先ほど敷かれたばかりの真紅の絨毯の西側に立ち待ちわびていた我々の目の前に御用機は静かにピタリと定位置に到着した。思っていたより随分大きく感じられたのは通常のターミナルでは間近に見ることが出来ない機体全体を目の前にしているからだろう。

確かめると、矢張りボーイングの747だ。写真で見ると、機体には前頭に「日本国」、尾翼に大きな「日の丸」後尾には航空自衛隊とある。残念ながら写真はご出発前で出ていないが操縦席の頭の上には両国旗がピョコンと出ているようになっている。

素晴らしい飛行機だ。待つこと暫らく、後尾のタラップから関係者、報道陣の皆さんが続々と降りて、総勢70~80人に及んだと思う。さらに待つこと暫らく、天皇、皇后両陛下が最前方からお出ましになり、陛下は皇后陛下においたわり示し、お二人はゆったりとタラップを降りてこられた。

両陛下が私の前にお立ちになり、山下総領事が「トロント新移住者協会、会長の長石」とご紹介されたのに対し、陛下が「新移住者とは?」とお尋ねになり私は敬礼すると共に「戦後の移住者です。」お答えできたと自分では思うが確かではない。というのは翌日の日系文化会館での御接見では皇后陛下から同じご質問を受けたからだ。しかし、両陛下のご関心を引くに充分な「新」の1字には相当の価値があるので今後とも大切に守るべきかもしれない。

ところで、御用機の747、見るからにピカピカなのだが、7月10日お見送りに再び空港に出掛けた時に JAL の方から伺ったのは驚くべき話で、流石、日本人と意を強くしたのだった。

実は、お見送りの時には離れた前方にもう一機停泊しているのが見えたが、これは目の前の747と全く同じ仕様の予備機であり同時に「おとり」でもあって、常に約30分の間隔を空けて飛行するのだそう。驚くなかれ、自動車でも廃車になっていてもおかしくない19年前、米国との貿易摩擦を軽減する目的で同時に購入した2機だそうで、航空自衛隊の管轄下にあり手厚く整備されていて、海外での整備を担当する JAL の方も空港に働く日系の方も口をそろえて曰く、「こんなに整備され、一点の傷、汚れもない747は見たことがない。この2機の747はまさしくボーイングから19年前に納入された時の状態だ。」というのだ。私は、誇りを胸いっぱいにしたことだった。

ちなみに、英国も仏国も専用機は持たず、民間機をその都度徴用して使っているそうである。もう一つ、両陛下は747上段の部屋をお使いのようで、お見送りの時、離れて行く機体の窓から手を振っておられるのが見えたので私の疑問が一つ消えて、何となく幸せな気分の私は丁度、上空を大きく北東に旋回して日の丸を見せるご用機と共に空港を後にした。

St. Andrew's Japanese Anglican Congregation Bazaar 2009

Date: Sat. Nov 7, 2009 Time: 1:00 p.m. - 3:30 p.m.

Place: St. Andrew's Church

49 Donlands Ave. (near Danforth Ave.)

Phone: (416)461-8399 (for info.)

- Eat delicious Japanese food (udon, teishoku)
- Shop for sushi and other items
- Other Bargains



夏のBBQ大会

三浦信義

毎年の繰り返しでいろいろな問題は解決していると思うのは間違いで、毎年新しい問題・課題が続出する。終わりのない試行錯誤がBBQの現実だ。

大鍋に大量に湯を沸騰させても半解凍ソーセージを放り込むと温度が下がる。なかなか沸騰しない。次はどうもろこしが待っている。会館の20カップ大炊飯器6つで大量のご飯を炊く。この大炊飯器、旧館以来20年は使っているだろう、炊き具合が一定しない。水加減の議論は毎年のごと。「米騒動」。大量のどうもろこし。皮をむき2つに折る。サラダ。数式が完全でもレタス1個の大きさが違うと量に差が出る。やがて焼けて戻って来たソーセージを切る作業も必要だ。最後に大量の果物の準備。その間、洗いや作業が延々と続く。早い話が戦場に近い。それでも長年の経験から作り上げられたしっかりした手順で、この全作業が3時間以内に無事に終わるのだから素晴らしいと思わないかね。終わると皆、すました顔をして台所から出て来るから、誰も内部の大騒ぎには気が付かない。



恒例のトロント新移住者協会の夏のBBQパーティーは8月30日、日系文化会館でBBQパーティー史上最高の411人の参加者を集めて盛大に終わった。今年からこの行事は日系文化会館との共催、今年はトロント新移住者協会の日本外務大臣表彰授賞のお祝いのパーティーともなった。

この夏のBBQは20年ほど前に移住者の親睦目的で始まった。皆でお金を出し合って食べ物を買って一緒に楽しもうよ、というのがあった。参加者全員がボランティアだった。そういう歴史から今でもボランティアも参加費を払う。今年は70人ほどのボランティアが押し寄せる参加者を相手に奮闘した。

食料は前日、買い出し部隊が町中を回って購買し運び込む。買う量が難しい。多くても少なくても困る。長年の参加者数VS消費量のデータを解析し、個々の材料購買式が作ってある。P x F = N。P:参加者数、F:材料係数、N:購買量。なかなか高度だね。



数式があってもPの予想がはずれると大混乱になるね。BBQ前の問い合わせの数、ボランティアの集まり具合、かち合っている他の行事、天候などを肌で感じ(!)、結局は長年の「感」で推測する。今年は350人を感じた。411人来た。嬉しい予想外れ。それでも何とか無事に済んだ。



BBQ準備の中心はまず台所だろう。朝早くから大勢のボランティアが押しかけて大量の食事を準備する。ソーセージゆで、どうもろこしゆで、ご飯炊き、サラダ作り、果物準備などなど、壁に張った手順に沿ってワイワイ、怒号と笑顔でこなして行く。

ガスBBQ部隊は火をつけ、ゆであがったソーセージから焼いて行く。焦げないように、が難しい。焦げると台所から怒鳴りに来るものね。(誰でしょう)。それが終わると、かの有名な韓国焼肉をBBQ。毎年汗をかくて頑張る熟練BBQチームだ。



会場設定、受付、出店、お茶、食事サーブテーブル、散髪、かき氷、ゲームなど平行してボランティアが大活躍して準備だ。そして参加者達が三々五々到着、受付開始、あとはすべてがうまく行き、今年も「大成功」と記事を書いて終わりだ・・・、は表向き。内情は???



12時に、早く食べたい参加者の熱い視線を感じながらの開会式、そして食事!今年ではBGMとしてトロント新移住者協会の紹介を「延々ぼそぼそ」と。その後は歌声喫茶の会がパワー一杯の「歌声」の紹介をした。

特記すべきは、喧喧譁譁の議論と試行錯誤の末に色とデザインが決まったトロント新移住者協会のオフィシャルTシャツのデビュー。鮮やかな青に白抜きロゴと字のTシャツ、ボランティアが着て目立ったね。



何はともあれ、ボランティアの皆さん、参加して下さいました皆さん、盛大で賑やかなBBQパーティーをありがとう!



みついし商店・サンダウンマーケット

日本送り用ギフト
承っております

日本食品

ビデオレンタル・雑貨

●スカーボロ店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

サンダーズ
ベリー
自然化粧品
取扱店

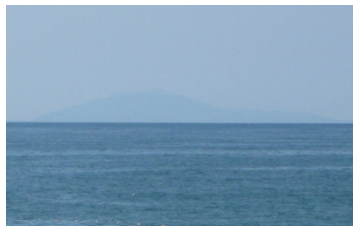
4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15,
Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley & Sheppard)
☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084

●エトビコー店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9
(Evans Ave. & Browns Line)
☎(416)251-7900 / (416)259-8260

◆街をうろろ◆



小さな漁港の姿は昔と同じだった。

小さな漁業協同組合の市場も、早朝のセリが終わった今は閑散として誰もいない。いるのは憎らしい名古屋からの浚渫作業の作業員だけだ。

弟が港に落ちて死にかけた場所を確かめた。助かったお陰で今は医学博士。

夏に泳いだ海岸は無人の砂浜。岩場で海草を収穫している人をしばらく眺めていた。魚の群れが泳いでいる。

はるか沖の水平線の向こうの霞の中に青い円錐形の小さな飛鳥が懐かしく見える。あの島に人が住んでいることが昔から不思議でなかった。いまでもそうだ。

もう夕方、歩きながら他に泊まるような所がないか探したが、ある訳がない。

そうだ、駅に場違いに明るい旅行社があってヨーロッパの旅行なんか斡旋していたっけ。ヨーロッパでなくても良い、近くの町への旅行で良い。

◆ヨーロッパ旅行は象潟へ◆



旅行社では老夫婦がどこかの旅行の相談をしていた。

「じゃ、それで考えてみるわ」

やっど僕の番。ヨーロッパの旅行を勧められることなく、隣町象潟の旅館を取ってくれた。朝食付き。これから行く、と電話してくれるところがローカルだ。

しばらくして来た特急に飛び乗り飛び降りて象潟に着いた。特急とは名ばかり、特急料金を取るローカル列車だ。

象潟の駅に降りて驚いた。小さな駅なのにロッカーがあった。必要な時になくて不要な時にあるものなーに。ロッカー。

仁賀保に劣らぬ寂しい駅前、やはりエンジンを止めたバスが発車時間を待っていた。

西陽を浴びながら雑草の生えた線路沿いをしばらく行くとその旅館があった。思いがけなくきれいな旅館でほっとした。

◆温泉風呂◆



8年間、温泉風呂というものに入っていなかった。

旅館の部屋に入るのもどかしく浴衣に着替え温泉風呂へ。

入って驚いた。巨大な木の温泉風呂だった。鳥海山から切り出した樹齢2千年のヒノキと書いてある。風呂の縁も段も床もすべて木。とても心地よい。



ああ、やっど日本の温泉にはいることが出来たぞ。やっぱり僕は日本人。

目の前にこの温泉の由来、効果などがいろいろ書かれている。一番気に入った項目は『この温泉の効果を最大限にする為には、出る時に温泉のお湯を洗い落とさずに体を拭いて

下さい』という項目だった。カラスより早い行水派の僕には最高の温泉だった。

◆これぞビジネス！◆



翌朝、朝食を食べに食堂へ行った。ドアを開けたら巨大な白人がテーブルに覆いかぶさるように朝食を食べている。何でこんな辺鄙な町の旅館に白人が!

風力発電の仕事でデンマークから昨年11月に来、クリスマスに帰った以外ずっと働いているのだそうだ。そう言えば山側の丘の上に沢山風力発電の塔が立っていたっけ。

旅館のおばさんが一生懸命世話をしている。

数年前初めて遠い国から来た人が泊まった時は本当にとまどったと言う。以来いろいろ世話をし、朝食も工夫し、コーヒーも研究して美味しくしてやっている内に、外国から仕事で来る人達は皆、ここに泊まるようになったと言う。

これぞビジネス!

本人はビジネスと思わず、遠くから来た人が過ごしやすくするよう心を込めてやっているところが気持ち良い。

◆知らない町を歩いてみた◆



秋田行きの特急まで時間があった。

駅のロッカーに荷物をあづけ、朝の静かな象潟の町を海へ向かった。

ツバメが飛んでいる。人も車も殆ど通らない。朝の太陽とそよ風が心地よい。

「♪知らない町を歩いてみ

たい♪」

自然に歌が口からこぼれる。

「♪知らない海を眺めてみたい♪」

海に出た。そこは白砂青松の海水浴場だった。夏は混雑するに違いない砂浜を機械が清掃している。

「♪愛する人に巡り会いたい♪」

僕の愛するゆうかさんは金沢で待っているの、これは必要なし。



◆700円のクッション◆



日本では歩く。それで日本へ来る前にトロントで歩きやすい靴を買った。軽く柔らかい。なかなか良い。

ただ、ちょっと深く、くるぶしが縁に当たった。中にクッションを入れたい。

靴屋はないかな、と見渡したら、何と斜め前でシャッターがガラガラと上がって靴屋が現れた。

靴のサイズは「7」、とおばさんに言っても分からない。日本はセンチだった。

まあ、とにかくサイズを合わせて活性炭入りの上等なクッションを選んだ。735円。

「まあ、はるばるカナダから来た人には、もうこれなんか・・・」

ん、ただでくれるかな。

「700円でいいですよ!」

ガクン。

700円のクッションは今でもなかなか心地よい。



象潟の駅は小さいながらも、ロッカーに加え、窓口ひとつの「みどりの窓口」があった。郷土民芸品の売店もあった。仁賀保の駅の旅行社とうどん・そばカウンターとあわせればちょっとした大きな駅だ。どうやらこの2つの駅でひとつの駅の役割を果たしている。

駅のホームに立つと、雪を頂いた鳥海山が朝日の中に美しい。芭蕉が褒め称えた象潟のあの景観はこの火山が作り出したのだ、と駅の観光案内に書いてあった。

昔、蒸気機関車が轟音を立てて行き来した線路を、特急「いなほ」485系電車が音もなくやって来た。今回は車内を改装した電車です、トイレは洋式、案内のオルゴールはクラシックの音楽だった。

そう、これで昔の足跡をたどった墓参りは終わったのだ。この後秋田から秋田新幹線で一目散に世話なく東京へ戻る。クラシック音楽案内オルゴールは「汽笛一声」オルゴールの思い出から僕を現代に引き戻すにふさわしかった・・・。

(終わり)

そうめん流し



中山あつ子



昨夜の雨がカラリッと上がり夏の雨上がりの空気も気持ちがいい。先日、「そうめん流し」をして日本の風情を楽しんだ。

初めて訪問と言う友人に藤棚や京都のもみじ等が植えられている日本的な庭をご案内。そこに露草やドクダミ草を発見。お部屋には、そのドクダミの白い花がさりげなく飾ってあった。露草やドクダミはとても懐かしい草花だ。今度、訪問したら苗をいただこうと思っている。そして、そこには池に寄り添うように竹を半分に割ってそうめん流しの準備が設置されていた。ご主人の大工仕事に感動と驚きの歓声をあげた。



お昼になって準備も整いそうめん流しが始まった。両側に立って汁椀を持って「さあ、開始！」の声にそうめんが水と一緒にサラサラと時にはドドッと流れてくる。最初は、下に立った人達にはそうめんの量が少なく「もっともっど...早く早く...」と賑やかな光景だった。掴ま

れなかったそうめんは最終地点で笹におさまる。その笹のそうめんを「ここが一番いいわ。」と言いながら嬉しそうに食べている友人の姿が微笑ましかった。きゃあきゃあ言いながら夏の楽しい風情ある時間が過ぎていった。

日本の夏の食文化を楽しみながら「ああ、日本人で良かった。」と思ったひとときでした。



今年、池端ナーサリースクールが日系文化会館に移転してから10周年を迎えることになりました。

そのとても大切な夏に、僕はナーサリーの一員として記念行事を迎えられた事を誇りに思っています。

母のデイケアセンターで過ごした時間は、もう十年以上にもなるのであまり覚えていませんが、思えばいつも日本語で話せる友達が回りにいて、とても楽しかった印象が残っています。

いつも回りに日本語環境があって、それが当たり前の様に感じていたので、逆に英語の学校に通い始めた時に不思議な感じがありました。

僕は日本語が得意だったので、日本の祖父と祖母にも普通に電話で話すことが出来ていつも喜んでもらっていましたし、僕も嬉しかったです。

母が池端ナーサリースクールを拡大し、日系文化会館に移った頃には僕は小学生となり通うことができなくなり、とても残念でした。今ではナーサリースクールがこんなにも大きくなり、多くの子供達が通い、正直驚いています。

そんなナーサリーに去年から僕はボランティアとして参加する事となり、自分の頃を思い出して懐しく思いました。

僕は今でもこうした英語と日本語を話せるチャンスをもたらした事を幸せに感じます。それだけでなく、日本の習慣やマナーを身につけていたから日本に行っても困らないし、小学校と中学校の体験入学も全く問題なく楽しく過ごすことが出来ました。今でもその頃の友達と仲良くしています。

これも全て環境をもたらした事から始まって、日本語を維持する努力が出来たのも母のお陰だと思えます。

これからも、たくさんの子供達がナーサリーで日本語を楽しく学んでくれたらと願っています。

IKEBATA
NURSERY SCHOOL
TORONTO CANADA

オンタリオ州認可保育園
TEL: 416-510-1441
トロント日系文化会館内
www.ikebatanursery.com

日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm
- ・(時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン(時間あり)
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み ・兄弟・姉妹割引あり

ボランティアスタッフ募集中

詳細は当ホームページをご覧ください

- 1816: 7歳のリンカーンは住居立ち退きに遭い、家計援助の為働く事を余儀なくされる。
- 1818: 母親他界
- 1831: 事業に失敗
- 1832: 州議会選挙、落選
- 1832: 失業した上に法律学校入学試験に失敗
- 1833: 自己破産、友人からの借金返済の為に17年間働く
- 1834: 州議会選挙、再度落選
- 1835: 婚約者に先立たれ、失意の為に6ヶ月寝込む
- 1836: 神経症を患い、6ヶ月間入院
- 1838: 州議会長選、落選
- 1843: 下院議会選挙、落選
- 1846: 下院議会選挙、落選
- 1848: 下院議会選挙、落選
- 1854: 上院議会選挙、落選
- 1856: 副大統領選挙、落選(100以下の得票)
- 1858: 上院議会選挙三度目の落選
- 1860: 大統領に選出される

本当に事実なのかと思われるかも知れませんが、上記はアメリカ第16代大統領 Abraham Lincoln の経歴です。彼は究極の逆境の中にあっても常に夢と希望と不屈の精神力を持ち続け、遂に政界の頂点を極めました。

標題のエピソードもNHKが放映したのでご覧になった方もあると思いますが、日本に住むイラン人母娘が全て負の条件の中にあっても常に自分の夢を追い続ける娘とその為に懸命にサポートする母の物語です。しかも彼女たちは実の親子ではありません。娘は養女です。

発端はアラブ人国家イラクとペルシア人国家イランの民族対立の歴史を背景に1980年より1988年の8年間に渡り両国間で行われたイラン・イラク戦争により肉親全てを失い孤児院に入った少女に一人の女性が尋ねてきたのが始まりでした。彼女は大学生の時ボランティアで戦争後の救助作業に参加し奇跡的に少女を瓦礫の下から救った女性でした。そして身寄りのない少女を養子に迎えました。しかしその為に裕福な家庭に育った彼女は家族から勘当され、日本に滞在していた婚約者に助けを求めました。

しかしながら、少女を養女にした事に反対し頼りにしていた婚約者からも見放され、彼女は自分達の生きる術をゼロから模索せざるを得ませんでした。全てが未知の異郷の中で生活して行くには余りにも過酷な状態でした。母親は辛うじてペルシャ絨毯を織る仕事等を得ましたが、それは一日かけて僅か3ミリしか編むことが出来ず、完成までに一年半は掛かると言う正に想像を絶するものでした。それでも娘の為に心身を砕いて働きました。そして生活を切り詰めた

中からコーランに挟んで少しずつお金を貯めて、定期的に祖国の孤児院に送っているとの事でした。

一方の娘は学校でも、イランはいらん等と苛めを受けながらも、祖国で観たドラマ『おしん』の生き方に強く感動し、女優として生きる道を選びました。多々の屈折はありましたが、NHKの「UNHCR」(国連難民高等弁務官事務所)を舞台にした番組で難民役を得たのを始め、少しずつながら女優の道に明かりが見え始めました。

ブッシュがイラク攻撃を始めた時、アメリカ、メーン州の反戦集会での13歳の少女の演説が世界に流れました。“イラクの人口2400万のうち、半分以下が15歳以下の子供達です。女の子もいれば男の子もいます。髪も茶色だったり、赤毛だったり、しかし、みんなわたしと同じ子供なのです。”

絶える事無く起こる世界各地での戦争によりどれだけの子供達が犠牲になり、難民となっているかは想像に難くありません。又若い難民のうち、特に少年は武装集団や反乱軍の活動に従事させられることもあります。紛争の資金調達のため不法に取引されるダイヤモンドを巡り、内戦最中の国から不法に輸出されたダイヤモンド(紛争ダイヤモンド)の代金が、反乱軍の武器購入費に充てられ、内戦を長引かせる一因になっているとアメリカ国務省が批判したことで話題となった映画『ブラッド・ダイヤモンド』の舞台になった西アフリカのシエラレオネ共和国では反政府軍にわずか8歳の子どもが兵士として加わっていたと報告されています。

民族、宗派の抗争、又テロ行為により目前で両親を失ない、将来は自分達の祖国を担う筈であるはずの幼い子供達が背負った深い心の傷が癒えることは、一生無いであろうと思います。「UNHCR」はユニセフや国際赤十字と協力して、このような子供達に里親を見つけて保護したり、親戚や家族を見つけ出して再び一緒になれるように支援しています。しかしながら現在世界で3000万人と言われる難民は、祖国の戦火を逃れ、異国にて一時的な身の安全は確保出来ても、本当の心の安らぎは決して得る事は出来ません。JICA理事長の緒方貞子氏が1991年から2000年まで、第8代国連難民高等弁務官として難民問題の解決模索のため精力的に世界各地の難民キャンプを回る姿が放映されたことがありますが、それらの画像が与える衝撃は我々の常識の域を遥かに凌駕して余りあるものでした。

運命的な出会い、そして異郷での未知の生活に自分の人生を託しながらも、最後にも生まれ変わることが出来たら今度は実の子として生を受け、本当のお母さんと呼びたいと語り、自分の全てをかけて見守って呉れた養母を助けながら、笑みをたたえ将来は祖国に孤児院を作りたいと願う彼女の瞳は、幾度もの過酷な苦難を越えてきた者だけが持つ不屈の精神と決して失う事のない希望の輝きを持っているように思われました。

本当の人間愛とは?という問いに一つの答えを見つけたようなエピソードでした。

デリバリーご注文うけたまわります

- ❖ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。
- ❖ 御家族連れ用豊部屋有り。各種テイクアウト致します。

個人〜団体様用パーティールームございます。

ランチタイム 火〜金 11:30〜2:30

ディナー 火〜木・日 5:00〜10:00
金・土 5:00〜10:30
月曜定休日

日曜も営業!!

■ 当店ホームページ mikadorerestaurant.ca を御覧ください ■

LICENSED
114 LAIRD DR. LEASIDE
駐車場完備
TEL/FAX: 416-421-6016

1978年創業

OPEN: 10a.m. TO 7p.m. (SUN: 11a.m. TO 6p.m.) CLOSED: TUESDAY
730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL: 416.703.4550 FAX: 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP

SANKO

http://www.toronto-sanko.com

日本食料品
みそ・しょうゆ各種
新鮮野菜
冷凍魚各種
スキヤキ肉
数の子昆布
いくら・とびこ
塩鮭切身
冷凍えだ豆
和菓子各種
オーガニック緑茶



さくら米
炊飯器
和食うつわ多種
新刊雑誌・古本
MAXELL/バッテリー
ペンチルペン
テレホンカード
ビデオレンタル
元気の源 元気ドリンク
他たくさん!!

書籍は航空便で直輸入
定期購読受付中!

おにぎり お弁当 (週末) あります **活気のある人求む 土日働ける方募集中!**

カナディアン・チャンピオン

丸木英郎



遂に念願達成しました!カナディアン・チャンピオンになりました。マスターズ水泳ナショナル・チャンピオンシップ(カナダ選手権)大会で4日間に8種目に出場し、金メダル1個、銀メダル4個、4位入賞りボン1個、5位入賞りボン1個を獲得しました。金メダルと共に受賞したワッペンにはカナダの国語である英語とフランス語で「カナダのナショナル・チャンピオン」と大きく印字され、国旗の楓と泳者を組み合わせたデザインが刺繍されています。このワッペンを来年にスエーデンのヨーテンプルグで開催されるワールド・チャンピオンシップ(世界選手権)で着用するカナダ代表選手用ジャケットに縫い付けます。

70才過ぎてから40年ぶりで開催したマスターズ競技会での記録が年々向上するのは、自分でも信じられないぐらいです。これはコーチの指導もあるでしょうが、競技ではライバルの僕より2才若い他のクラブの日本人選手が教えてくれた泳法のおかげです。去年のプロビシナル・チャンピオンシップ(オンタリオ州選手権)競技会の際に僕の強力なキックを見ていた彼が、50メートルレースではスタートからラストスパートのつもりでぶっとばすよう示唆されました。その結果、今回の大会で同じレースで泳ぎ僕が勝ってしまったので、教えなければ良かったと冗談まじりで苦笑されました。まさに、敵に塩を贈る武士道精神の持ち主の立派な方です。

2年前、誰から聞いたのか、僕が70才以上の水泳選手と知ったカナダのテレビ局から取材の依頼がありました。2007年州選手権で受賞した金メダルを胸に、僕の住んでいるコンドのプールでインタビューしたいとの申し出でしたが、管理人から住人のプライバシーの都合上テレビ撮影は厳禁と断られました。そのテレビ局の日本人美人リポーターが2008年州選手権大会の会場にカメラマンを連れて取材に来られ、僕の出場レースをビデオカメラに収め、僕の競技歴や体力維持の秘訣や将来の目標などを訊かれました。トロントの日本語番組「ワイワイワイド」で放映され、友人知人から本気にされませんでした。妻でさえ僕が水泳選手とは知らなかったのですから当然のことです。

去年の夏に3週間の訪日帰省の際にも体がなまらないよう、母校の県立西宮高校と大阪府立大学の水泳部のトレーニングに参加しまし

た。故郷のマスターズ水泳クラブ(西宮コナミススポーツ)にも顔を出し道場破りしました。僕の記憶をチェックされたコーチが、僕のタイムは世界第3位に相当するが50メートルで2秒以上も縮めての優勝は無理だろうと言われました。ところが、去年の12月に地元のプールで開催された五種競技の50メートル平泳のタイムは、世界第3位どころか去年の世界選手権の優勝タイムをも上回り、公認世界記録より速いタイムでした。2010年の夏にはヨーテンプルグで世界新記録を樹立し友人達をビックリ仰天させ、金メダルを土産に日本に住む、頑丈な身体に産んでくれた母の満百歳誕生日へのプレゼントにしようと連日猛練習に励んでおります。

たそがれ塾からのお知らせ

上中修三

本誌の前号に「たそがれ塾」(仮称)設立案を載せていただきましたが、幾人かの方から参加希望のメール応答がありました。(丁度そのころ私のコンピューター・インターネット機能に不調の時期があり、他にもメールをお送り下さったのに届かなかった可能性があります。受け取ったメールには全て返信を書きました。返信が無かった方、お手数ですがもう一度メール或いはお電話を下さい。必ず返信致します。)

只、反応から推測して、私が期待していた層の方々の興味をそそらなかったようです。その層というのは、歴史は高校の時習ったが、年代、登場人物、事件など丸暗記させられて辟易し歴史嫌いになったと言う方々です。もともと、前号の記事中、博士だの大学院だのと言う言葉を使ってしまったので、しり込みされた方もあるかと思えます。私自身好きではない大きな表現をしてしまい、反省しています。お詫びしますから、興味のある方はどなたでも参加してみてください。歴史好きにしてみせる自信があります。どなたかが私への応答メールの中で、「勉強会」と言う言葉を使っておられました。そう、少数でも気軽に楽しい集まりにしたいと思えます。

反応の結果として塾の開設を決定、具体案を以下に記してお知らせします。(尚、このようなお知らせは私事の広告めいていて、記事としては不相当と思われる方もあるのではと懸念します。ただ、私的な営利が目的ではないこと、新移住者社会にとって多少の公共性をもっていることでお許し頂けるのではとおもいます。)

- * 十月七日(水)より、午後一時から三時まで、拙宅で開講しています。約一時間半お話し、あとは質疑、あるいは討議に当てます。以後毎月第一および第三水曜日の同時間に集まります。初日に年間講義の主題などを話し、プリントをお渡しします。
- * 入塾費、月謝などは無料です。ただし、全くの任意、自由意志による寄付(義務は一切ありません。)は頂き、プリント代など経費に用います。余剰があれば塾の図書費に当てます。(私の蔵書の一部を塾の図書とし、塾生の利用に供しますが、さらに充実させたいと思えます。)
- * 将来は機関紙の発行、会として発展なども考えられますが、全て塾生と話し合っ決めていきます。
- * 尚、前もって連絡が無く開講当日お出でになっても、或いはお友達をおつれになっても結構です。

住所・ 39 Macklingate Crt., Scarborough, ON M1V 1E6
Phone: 416-293-4646 s.yuenaka@sympatico.ca

新装開店

ドンバレーノースのトヨタ部門が新築移転して営業開始!

オールカナダ最大のショールーム(40台展示)、サービス工場(44ベド、ドライブスルーサービス)、建坪104000sqft.
(本社機能及びレクス部門は現社屋のままで年末より拡張工事開始予定。)

Don Valley North

LEXUS TOYOTA

Canada's #1 TOYOTA & LEXUS Dealer Since 1973 横浜トヨベト・グループ 海外拠点・創立35周年

1 DON VALLEY NORTH TOYOTA www.dvntoyota.com
3300 Steeles Ave. East, Markham (905)475-0722 友野

2 DON VALLEY NORTH LEXUS www.dvnlexus.com
3120 Steeles Ave. East, Markham (905)479-8555 横山

3 MARKVILLE TOYOTA www.markvilletoyota.com
5362 Hwy #7, Markham (905)294-8100 田中

4 LEXUS OF RICHMOND HILL www.lexusrh.com
11552 Yonge Street, Richmond Hill (905)883-8812 坂本

5 TOYOTA COLLISION REPAIR CENTRE
391 John Street, Thornhill (905)886-0434 山口

新鮮さ味一番!!

オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ
◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店でお求めください

Since 1980

SEAFOOD MANUFACTURER

3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3

www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012



先ず、「JSS」を知らない方のために JSS のことを簡単に説明します。「JSS(Japanese Social Services)」はトロントで生活をしている日本人・日系人の方々のために、英語と日本語でサービスを提供している非営利団体です。日本語によるサービスを提供している団体はトロントでは JSS だけです。恐らく、カナダ全体でも同様と思われます。サービスの内容・プログラムの詳細について興味のある方は www.jss.ca を是非一度ご覧下さい。

JSS は主に皆様からの寄付と賛助会費で運営されています。その他、トロント市からの援助金もいただいております。資格保有のカウンセラーと事務担当(パートタイム)の各一名以外は全員ボランティアで JSS の活動を支えています。2008年のボランティア延べ総数は520人でした。

活動の内容については、2008年一年間の統計では、カウンセリングとコンタクト総数は524件(2007年:575件)。その内、164件(2007年:233件)が移民のステイタス、ワーキングホリデイが83件(41件)、Unknown が68件(73件)でした。コンタクトのタイプとしては、インタビューが294件、訪問が29件、メールが11件でした。

2008年のカウンセリングとコンタクトの主な内容では、別居・離婚のケースが155件、法律関係が153件、精神衛生関係が138件、犯罪関係の相談が36件ありました。

因みに、これだけの数のカウンセリングとコンタクトをこなす為に、JSS 専任カウンセラーの残業時間は膨大なものになっています。

以上が JSS の活動背景です。

さて、これから本題に入ります。

	2006	2007	2008	2009 6月時点
寄付金 C\$	37,100	31,300	18,500	8,400
内訳:個人	14,500	13,500	13,400	4,400
非個人	22,600	17,800	5,100	4,000
一時的寄付金	1,300	7,700	1,100	
会費 C\$	4,200	5,200	4,900	2,000
Fundraising ※	15,300	12,200	18,200	4,600

※会館で開催される2年に一度の3日間に亘るイベントに2006・8年に参加して、C\$ 4,000・5,200の収入がありました。

個人からの寄付金、賛助会費、fundraising は比較的安定した傾向ですが、非個人からの寄付が年毎に減っているのがお分かりいただけると思います。

この結果、2007年までは、少額の剰余金(2006年: C\$1,700、2007年: C\$4,000)を計上することが出来ました。2008年度は C\$4,300 の赤字決算を余儀なくされました。2009年度予算では、C\$6,600 の赤字が予想されています。

2008年度末の累計剰余金は、C\$32,400 でしたから、今後 C\$5,000 前後の赤字が毎年続くとなると、5,6年で JSS は経済的破綻をきたすことが憂慮されています。

C\$90,000 に満たない年間経費のうち、カウンセラーと事務担当の給与が70%以上を占めています。その他は、プログラム・Fundraising・ボランティア交通費等、必要不可欠経費が占めています。

JSS では、7月に開催されて大好評をいただいた「肺がんセミナー」等、様々なサービス・プログラムを通して日系社会に少なからず貢献していると自負しております。今後も活動を続けていくために、新移住者の皆様に初め、多くの人達からの支援・援助を必要としております。

私達の心のより所である JCCC に気軽に立ち寄る場があったらという願いを持って、昨年9月5名の有志で立ち上げたコーヒーショップ「まほろ」は、事情によりまして7月末日をもって閉店するすることになりました。

立ち上げに至るまで、そしてその後も一体となってご協力して下さいました James Heron さんと石原治子さん、又 JCCC で働く皆様やそこに集うたくさんの方々の温かいご支援で、一年間を終わることができました。本当にありがとうございました。

戦後一世二世の人々のお力でここまで大きくなった日系文化会館、今や日系人のみならず日本文化を愛する多くのカナダ人の輪となって益々発展していこうとしております。新装成った広々とした建物は、晴れ晴れとした気持ちにさせてくれます。ただ、行事のない時の会館はその広さの故か、いささか森閑として淋しい雰囲気からまぬがれません。残念ながら短い期間でしたが、私達のささやかなショップが、少しでも賑やかな雰囲気をプラスできたとしたら、本懐とするところでございます。

「まほろ」では、オーガニックの煎り立てのコーヒーを提供することに心をくだいて参りました。おかげさまで、たくさんのお客様のコーヒーの味を愛するお客様に喜んで頂いて、嬉しく感謝しております。そこで、そのようなお客様に、今後も美味しいコーヒーを飲んでいただきたいと思ひまして、「まほろ」のメンバー5名で、同じオーガニックのコーヒーを販売配達していこうと考えております。現在のところ、E-メール: mahoro.coffee@gmail.com や電話にてご注文を承り、最寄の便利な場所まで受け渡しをしてみても、と考えております。尚、今までは2種のコーヒーしか提供できませんでしたが、今後はカフェインフリーを始め、種類も各種取り揃えることが可能でございます。

どうぞ、今後も「まほろ」のオーガニックコーヒーをお楽しみ下さいませ。

「まほろ」の仲間:

中尾良子、ハワード園枝、島貫陽子、滝沢ゆうか、ハイド容子

N J C A 主催 2009 年度日本語教育セミナー
開催日程のお知らせ

本年度も例年通り年間4回の研修会の開催を計画しています。現在、日系文化会館の会場を確保し講師の先生方に予定を組んでいただく為に下記を暫定的ですが計画しました。講演内容については未定ですが日時と講師は確定したものとお考え下さい。皆様の予定表にご記入の上是非とも4回全てにご参加下さい。講師の先生方には長年のご経験に基づき、心を込めて準備されます。ご自分のお子様の為、可愛い生徒さんの為、あるいはご自身の教養の為に年4回、日曜日の12時ごろから午後5時ごろまでを捧げて下さい。



開催の日時と講師

- 2009年11月22日(日) 鈴木美知子 先生
 - 2009年12月6日(日) 赤松 種 博士
 - 2010年2月14日(日) 小室郁子 先生
 - 2010年3月14日(日) ミステリ・プロジェクト
- 開催時間は毎回12:00受付開始、12:30pm~4:30pm講演

担当:長石芳尚 連絡先: tackmy@aol.com

【編集後記】



編集責任者 森貞一弘

自民党から民主党に政権交代したことよりも、のりっぴーが覚醒剤で逮捕されたことで、ショックが大きかった上に、帯状疱疹と悪戦苦闘していたので、編集～発送、遅れてしまい申し訳ありませんでした。「にゅうすれたあ」113号の原稿締め切りは11月30日、12月下旬に発送する予定です。さびしい冬の楽しい過ごし方、新年の決意など、何でも思いつくまま自分の言葉で表現してみてください。

ご意見、原稿の送付先→ doit4joy@hotmail.com